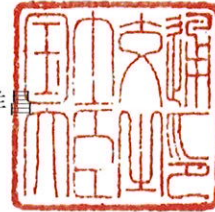


認定書

国住参建第 2301 号
令和 7 年 9 月 9 日

吉野石膏株式会社
代表取締役 須藤 永作 様

国土交通大臣 中野 洋昌



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行規則第 8 条の 3 の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
TBFC-0168
2. 認定をした構造方法等の名称
厚 12.5mm ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板／ドリリングタッピンねじ DTSN4.2×32／外周部@75mm、中通り@150mm／枠組壁工法耐力壁における構造方法
3. 認定をした構造方法等の内容
2.4 の倍率を有する枠組（耐力壁）
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造方法の名称

厚 12.5mm ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板／ドリリングタッピンねじ DTSN 4.2×32／
外周部@75mm、中通り@150mm／枠組壁工法耐力壁

2. 構造の概要

(1) 面材の概要

a) 面材の名称

ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板

b) 面材の構成及び組成

面材の断面図を図 1 に示す。また、その構成材及び組成を表 1 に示す。

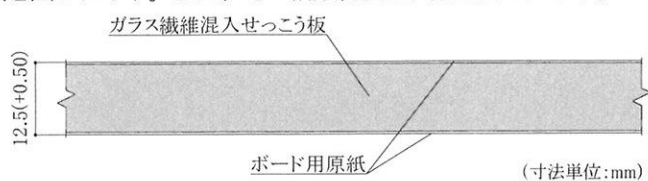


図 1 面材の断面図

表 1 構成材及び組成

表裏面材： ボード用 原紙	組成などは社外秘とさせていただきます。
芯材： ガラス繊維 混入 せっこう板	組成などは社外秘とさせていただきます。

c) 寸法

	厚さ (mm)	幅 (mm)	長さ (mm)
寸法	12.5	900~1000	1800~4500
許容差	0~+0.5	-3~0	0~+3

d) 側面加工形状

図2に示すベベルエッジ又はスクエアエッジとする。

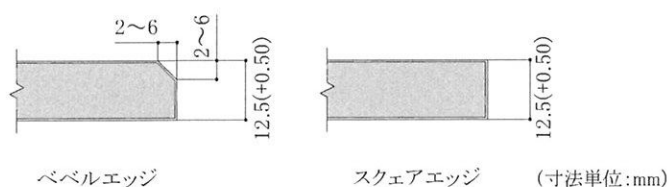


図2 側面加工形状断面図

e) 品質の基準

国土交通大臣の認定を取得した面材（認定番号：NM-5511）に対し、面材の厚さの範囲を制約している。

性能：（試験方法はJIS A 6901：2014による。）

含水率 (%)	曲げ破壊荷重 (N)		単位面積当たりの質量 (kg/m ²)
	長さ方向	幅方向	
3以下	500以上	200以上	9.27~11.33

外観：ボード用原紙張ガラス繊維混入せっこう板の両面及び側面には、使用上有害な欠け、割れ、汚れ、きずなどがあつてはならない。

(2) 枠組材の仕様概要

- ① 枠組材の品質は、構造部材の種類に応じ、平成13年国土交通省告示第1540号第2第一号の規定に適合するものとする。下枠、たて枠及び上枠の寸法は、平成13年国土交通省告示第1540号の規定による。継手受材の寸法は、枠組壁工法構造用製材の日本農林規格（JAS 0600 枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材）に規定する寸法型式204以上とする。
- ② たて枠相互の間隔（たて枠芯）は、450mm以上500mm以下とする。
- ③ 耐力壁の高さ（上枠上端と下枠下端との距離）について、1枚張りの場合は、1535mm以上3865mm以下とし、縦継ぎ張りの場合は1999mm以上4576mm以下とする。
- ④ 継手受材を設ける場合、継手受材は下枠下端から1820mm又は2730mm又は3030mmの位置（継手受材芯）に取り付ける。

(3) 接合具の仕様

規格名称：ドリリングタッピンねじ

規格番号：JIS B 1125:2015

種類：十字穴付きトランペットドリリングタッピンねじ

呼び：DTSN 4.2×32

3. 耐力壁の適用範囲

- (1) 当該面材を使用した耐力壁の適用範囲は、平成 13 年国土交通省告示第 1540 号に準拠した枠組壁工法を用いた建築物とする。
- (2) 当該耐力壁は、枠組壁工法を用いた建築物の外周壁の屋外側下地材、室内側下地材及び内部壁の下地材に用いるものとする。当該耐力壁を外周壁の屋外側下地材として用いる場合は、防水紙その他適切な防水措置を講じるものとする。
- (3) 平成 13 年国土交通省告示第 1540 号第 5 号表 1 及び表 2 に掲げる壁及び建築基準法施工規則第 8 条の 3 に基づく国土交通大臣の認定を受けた壁を併用する場合は、本件耐力壁及び併用する耐力壁の仕様を満足するものに限り、倍率の数値 7 を限度としてそれぞれの倍率の数値を加算できるものとする。ただし、加算した倍率の数値の合計が 5 を超える場合には、当該の壁の枠材に実際に作用する圧縮力及び引抜力に対して横架材・基礎ばりが十分な耐力を有することを確認すること。
- (4) 本件の枠組を準耐力壁等として存在壁量に算入する場合の壁倍率の数値の算定方法は以下の表 2 によるものとする。

表 2 準耐力壁等として壁倍率認定の数値の算定法

	準耐力壁等の種類	倍率
(1)	耐力壁線路上にない間仕切壁	当該壁倍率認定の倍率 ^{※1} ×0.6（3を超える場合は3）
(2)	垂れ壁及び隅壁	当該壁倍率認定の倍率 ^{※1} ×0.6×(面材の高さの合計 ^{※2} ／横架材間内法寸法)
<p>※1：複数の枠組壁工法の耐力壁を併用する場合には、それぞれの壁倍率の数値を加算した数値</p> <p>※2：面材の高さの合計が横架材間内法寸法の 8/10 以下の場合、壁長さは 2メートル以下とする。</p>		

- (5) 耐力壁線路上以外に準耐力壁として本件の枠組を設置する場合に、当該準耐力壁の加算後の壁倍率の数値が 1.5 を超える場合には、当該準耐力壁の上下に適切な横架材を配置しなければならない。また、当該準耐力壁の加算後の壁倍率が 3 以上である場合には、当該準耐力壁の枠材に実際に作用する圧縮力及び引抜力に対して横架材・基礎ばりが十分な耐力を有することを確認すること。

4. 耐力壁の施工仕様の概要

(1) 枠組材

- ① 枠組材相互の緊結方法は、平成 13 年国土交通省告示第 1540 号第 5 第十四号の規定に基づく。
- ② たて枠、上枠、下枠、継手受材の断面寸法は見付け 38mm 以上×見込み 89mm 以上とする。
- ③ たて枠相互の間隔（たて枠芯）は、450mm 以上 500mm 以下とする。
- ④ 耐力壁の高さ（上枠上端と下枠下端との距離）について、1 枚張りの場合は 1535mm 以上 3865mm 以下とし、縦継ぎ張りの場合は、下側の面材長さが 1820mm で 1999mm 以上 4576mm 以下、下側の面材長さが 2730mm で 2909mm 以上 4555mm 以下、下側の面材長さが 3030mm で 3209mm 以上 4555mm 以下とする。
- ⑤ 継手受材を設ける場合、継手受材は下枠下端から 1820mm 又は 2730mm 又は 3030mm の位置（継手受材芯）に取り付ける。

(2) 面材の割付

面材は枠組材に直張りとし、面材の幅が900mm～1000mmで、張り方は下枠と上枠の間に継手受材を設けて2枚の板で縦継ぎ張りとするか、または1枚の板で縦張りとする。

2枚の板で縦継ぎ張りとする場合、下側の面材長さが1820mmで上側の面材長さが179mm～2756mm、下側の面材長さが2730mmで上側の面材長さが179mm～1825mmまたは下側の面材長さが3030mmで上側の面材長さが179mm～1525mmとする。1枚の板で縦張りとする場合、面材長さが1535mm～3865mmとする。

(3) 面材の留め付け

①面材は、ドリリングタッピンねじDTSN 4.2×32を用いて、面材の外周部ではねじ相互のマーキング間隔を75mm（マーキングからのずれの許容差：±8mm）以下で、また面材の中通りの部分ではねじ相互のマーキング間隔を150mm（マーキングからのずれの許容差：±15mm）以下で枠組材に留め付ける。ただし、面材端部に間隔の狭い箇所が集中するような極端な配置とにならないようにする。

②ねじが有効に作用するように、面材の端部とねじとの間隔（へりあき距離）は、たて枠及び継手受材では10mm（許容差：±2mm）、上枠及び下枠では見付け幅の1/2（19mm）（許容差：±5mm）とする。

③面材の外周部及び中通りの部分におけるねじ本数について、面材の長手方向及び短手方向の辺長（H、L）からへりあき距離（ H_1+H_2 、 L_1+L_2 ）を減じた長さ（ $H-(H_1+H_2)$ 、 $L-(L_1+L_2)$ ）を算出し、その長さを各部のねじ間隔（P、Q）で除する。

外周部のねじ本数はその値の小数第一位を切り上げて1を加えた値とし、中通りの部分のねじ本数はその値の小数第一位を切り上げて1を減じた値とする。

なお、図3に示す通り、面材四隅のねじは長手・短手両方向のねじ本数として数えることとするが、中通りの部分と外周部のねじを結ぶ直線上のねじは、中通りの部分のねじ本数として数えないものとする。また、ねじ本数の一覧を表3に示す。

ここで、Lは900mm～1000mmの値、Hは耐力壁の施工仕様に応じた下側もしくは上側の面材長さの値、 H_1 及び H_2 については、上枠及び下枠部では19mm、継手受材部では10mm、 L_1 及び L_2 は10mm、Pは75mm、Qは150mmとする。

④面材のかかり代は、上枠及び下枠では38mm以上、たて枠及び継手受材では19mm以上とする。

⑤ねじ留めは、面材に表示されたねじ留めの位置に従って行い、表示のない位置は施工時にマーキング等した後ねじ留めする。

⑥面材の継手部は縦方向および横方向とも突き付けとなるようにする。

⑦ねじは、面材表面に面一になるように留め付ける。

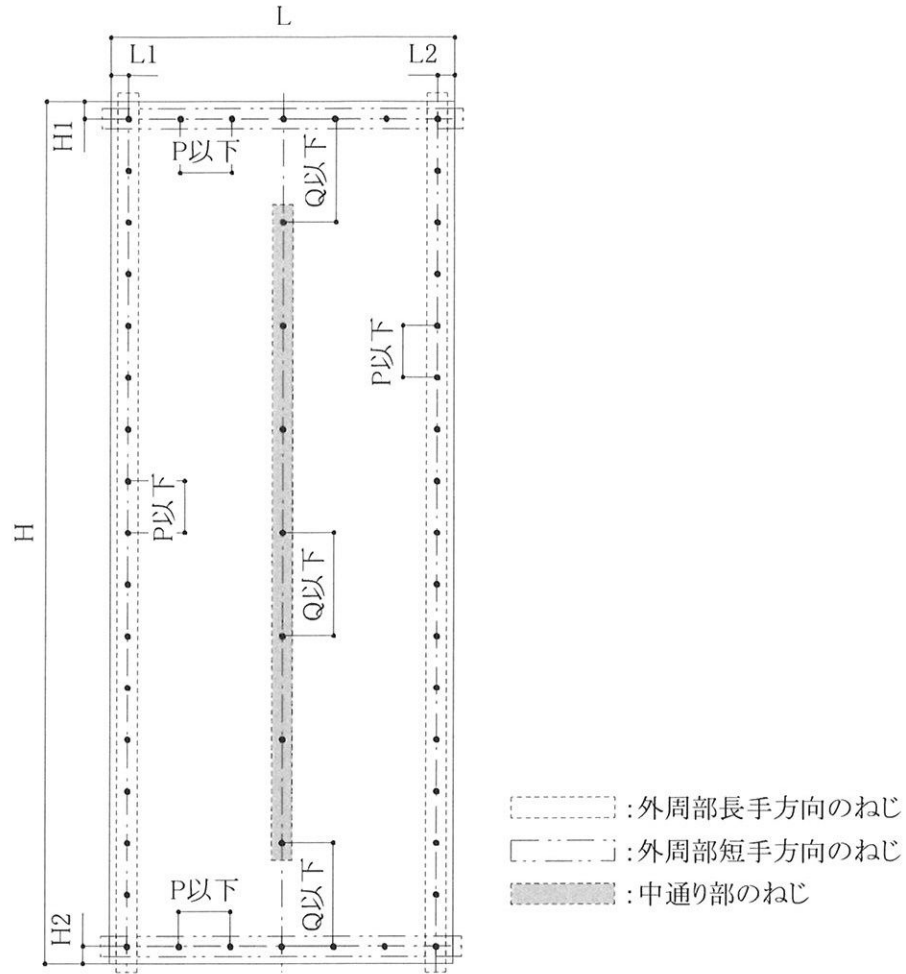


図3 各部のねじ本数

表3 ねじ本数一覧

項目	仕様			
面材と枠組	種類	ドリリングタッピンねじ DTSN 4.2×32		
	間隔	外周部間隔	75mm	以下
	中通り間隔	150mm	以下	
	面材長辺からの縁端距離	たて枠位置	10mm	
	面材短辺からの縁端距離	継手受材位置	10mm	
		上枠・下枠位置	19mm	
本数	面材外周部 短手方向長さ	900mm	以上 920mm	以下 13本
		920mm	以上 995mm	以下 14本
		995mm	以上 1000mm	以下 15本
	面材外周部 長手方向長さ			
	縦継ぎ張りの上側面材	179mm	以上 254mm	以下 3本 または 4本
		254mm	以上 329mm	以下 5本
		329mm	以上 404mm	以下 6本
		404mm	以上 479mm	以下 7本
		479mm	以上 554mm	以下 8本
		554mm	以上 629mm	以下 9本
		629mm	以上 704mm	以下 10本
		704mm	以上 779mm	以下 11本
		779mm	以上 854mm	以下 12本
		854mm	以上 929mm	以下 13本
		929mm	以上 1004mm	以下 14本
		1004mm	以上 1079mm	以下 15本
		1079mm	以上 1154mm	以下 16本
		1154mm	以上 1229mm	以下 17本
		1229mm	以上 1304mm	以下 18本
		1304mm	以上 1379mm	以下 19本
		1379mm	以上 1454mm	以下 20本
		1454mm	以上 1529mm	以下 21本
		1529mm	以上 1604mm	以下 22本
		1604mm	以上 1679mm	以下 23本
		1679mm	以上 1754mm	以下 24本
		1754mm	以上 1829mm	以下 25本
		1829mm	以上 1904mm	以下 26本
		1904mm	以上 1979mm	以下 27本
		1979mm	以上 2054mm	以下 28本
		2054mm	以上 2129mm	以下 29本
		2129mm	以上 2204mm	以下 30本
		2204mm	以上 2279mm	以下 31本
		2279mm	以上 2354mm	以下 32本
		2354mm	以上 2429mm	以下 33本
		2429mm	以上 2504mm	以下 34本
		2504mm	以上 2579mm	以下 35本
		2579mm	以上 2654mm	以下 36本
		2654mm	以上 2729mm	以下 37本
		2729mm	以上 2756mm	以下 38本
	縦継ぎ張りの下側面材	1820mm		25本
		2730mm		38本
		3030mm		42本
	1枚張りの面材	1535mm	以上 1538mm	以下 21本
		1538mm	以上 1613mm	以下 22本
		1613mm	以上 1688mm	以下 23本
		1688mm	以上 1763mm	以下 24本
		1763mm	以上 1838mm	以下 25本
		1838mm	以上 1913mm	以下 26本
		1913mm	以上 1988mm	以下 27本

1988mm 以上	2063mm 以下	28本
2063mm 以上	2138mm 以下	29本
2138mm 以上	2213mm 以下	30本
2213mm 以上	2288mm 以下	31本
2288mm 以上	2363mm 以下	32本
2363mm 以上	2438mm 以下	33本
2438mm 以上	2513mm 以下	34本
2513mm 以上	2588mm 以下	35本
2588mm 以上	2663mm 以下	36本
2663mm 以上	2738mm 以下	37本
2738mm 以上	2813mm 以下	38本
2813mm 以上	2888mm 以下	39本
2888mm 以上	2963mm 以下	40本
2963mm 以上	3038mm 以下	41本
3038mm 以上	3113mm 以下	42本
3113mm 以上	3188mm 以下	43本
3188mm 以上	3263mm 以下	44本
3263mm 以上	3338mm 以下	45本
3338mm 以上	3413mm 以下	46本
3413mm 以上	3488mm 以下	47本
3488mm 以上	3563mm 以下	48本
3563mm 以上	3638mm 以下	49本
3638mm 以上	3713mm 以下	50本
3713mm 以上	3788mm 以下	51本
3788mm 以上	3863mm 以下	52本
3863mm 以上	3865mm 以下	53本

面材中通り 長手方向長さ

縦継ぎ張りの上側面材

179mm 以上	329mm 以下	1本
329mm 以上	479mm 以下	1本 または 2本
479mm 以上	629mm 以下	2本 または 3本
629mm 以上	779mm 以下	3本 または 4本
779mm 以上	929mm 以下	4本 または 5本
929mm 以上	1079mm 以下	5本 または 6本
1079mm 以上	1229mm 以下	6本 または 7本
1229mm 以上	1379mm 以下	7本 または 8本
1379mm 以上	1529mm 以下	8本 または 9本
1529mm 以上	1679mm 以下	9本 または 10本
1679mm 以上	1829mm 以下	10本 または 11本
1829mm 以上	1979mm 以下	11本 または 12本
1979mm 以上	2129mm 以下	12本 または 13本
2129mm 以上	2279mm 以下	13本 または 14本
2279mm 以上	2429mm 以下	14本 または 15本
2429mm 以上	2579mm 以下	15本 または 16本
2579mm 以上	2729mm 以下	16本 または 17本
2729mm 以上	2756mm 以下	17本 または 18本

縦継ぎ張りの下側面材

1820mm	11本
2730mm	18本
3030mm	20本

1枚張りの面材

1535mm 以上	1538mm 以下	9本
1538mm 以上	1688mm 以下	9本 または 10本
1688mm 以上	1838mm 以下	10本 または 11本
1838mm 以上	1988mm 以下	11本 または 12本
1988mm 以上	2138mm 以下	12本 または 13本
2138mm 以上	2288mm 以下	13本 または 14本
2288mm 以上	2438mm 以下	14本 または 15本
2438mm 以上	2588mm 以下	15本 または 16本

	2588mm 以上 2738mm 以下 16本 または 17本
	2738mm 以上 2888mm 以下 17本 または 18本
	2888mm 以上 3038mm 以下 18本 または 19本
	3038mm 以上 3188mm 以下 19本 または 20本
	3188mm 以上 3338mm 以下 20本 または 21本
	3338mm 以上 3488mm 以下 21本 または 22本
	3488mm 以上 3638mm 以下 22本 または 23本
	3638mm 以上 3788mm 以下 23本 または 24本
	3788mm 以上 3865mm 以下 24本 または 25本

(4) その他の施工仕様

特になし。

(5) 施工図

施工図を図4～図7に示す。

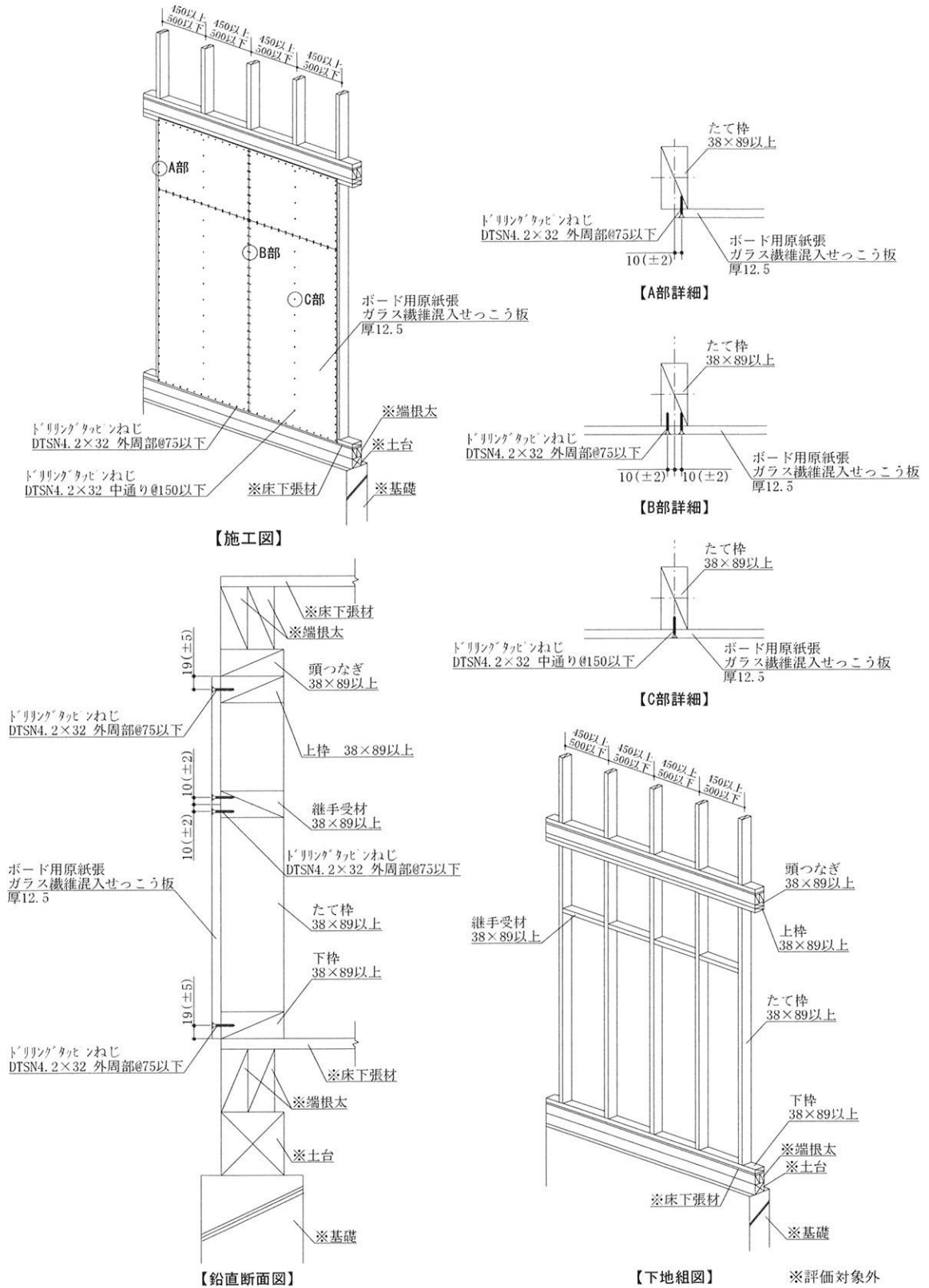


図4 施工詳細図：縦継ぎ張りの場合 (寸法単位：mm)

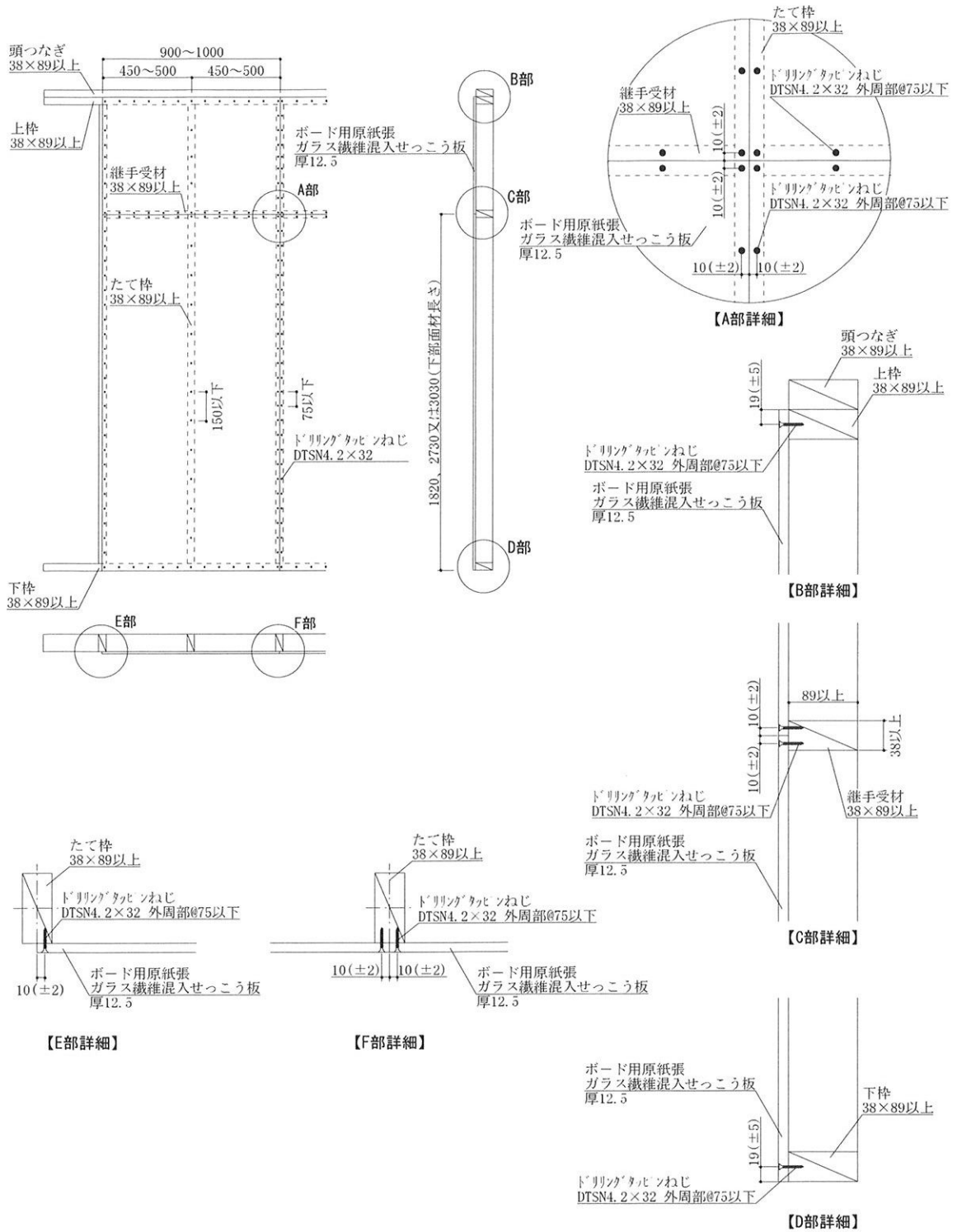


図5 施工図：縦継ぎ張りの場合 (寸法単位：mm)

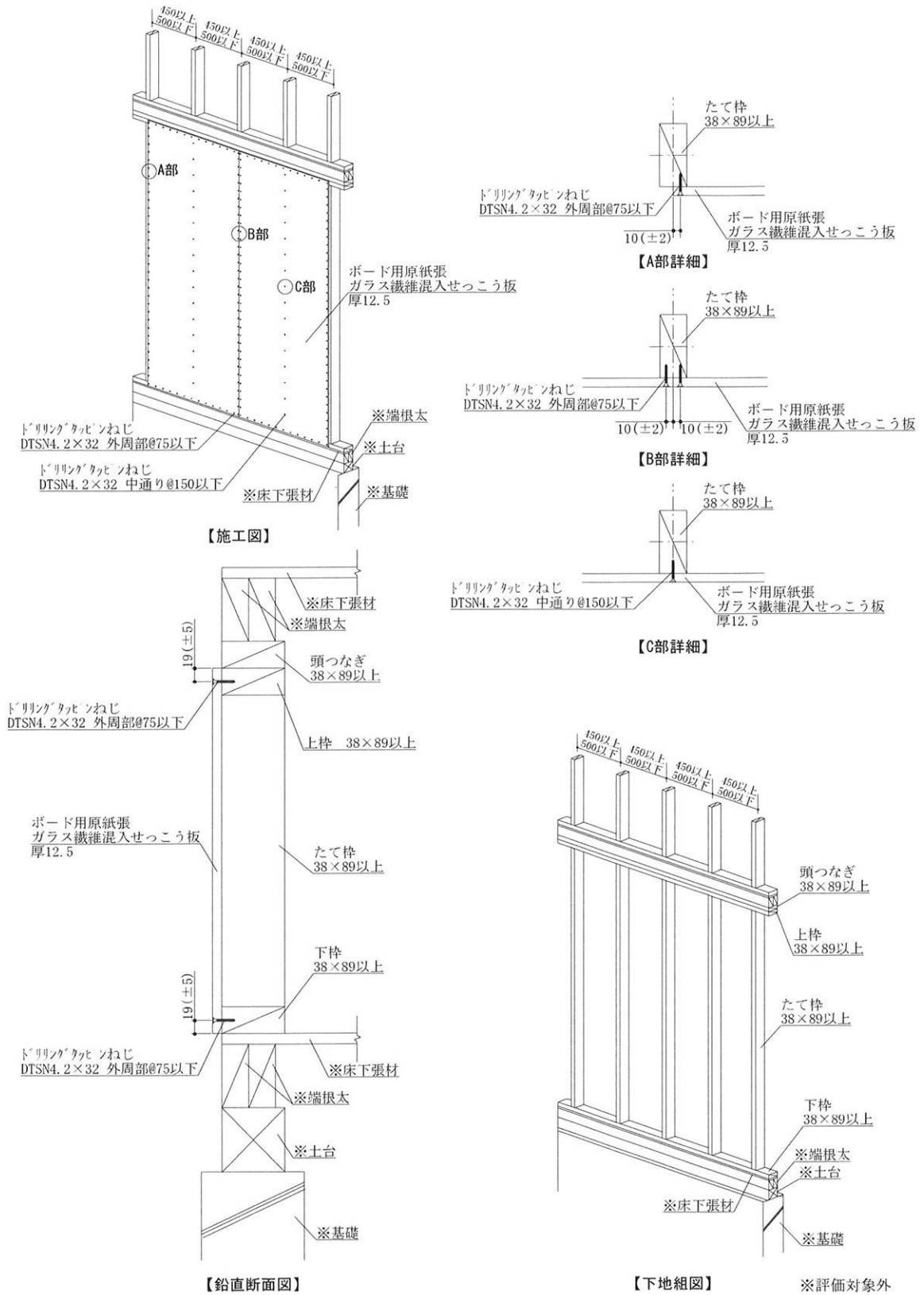


図6 施工詳細図：1枚張りの場合 (寸法単位：mm)

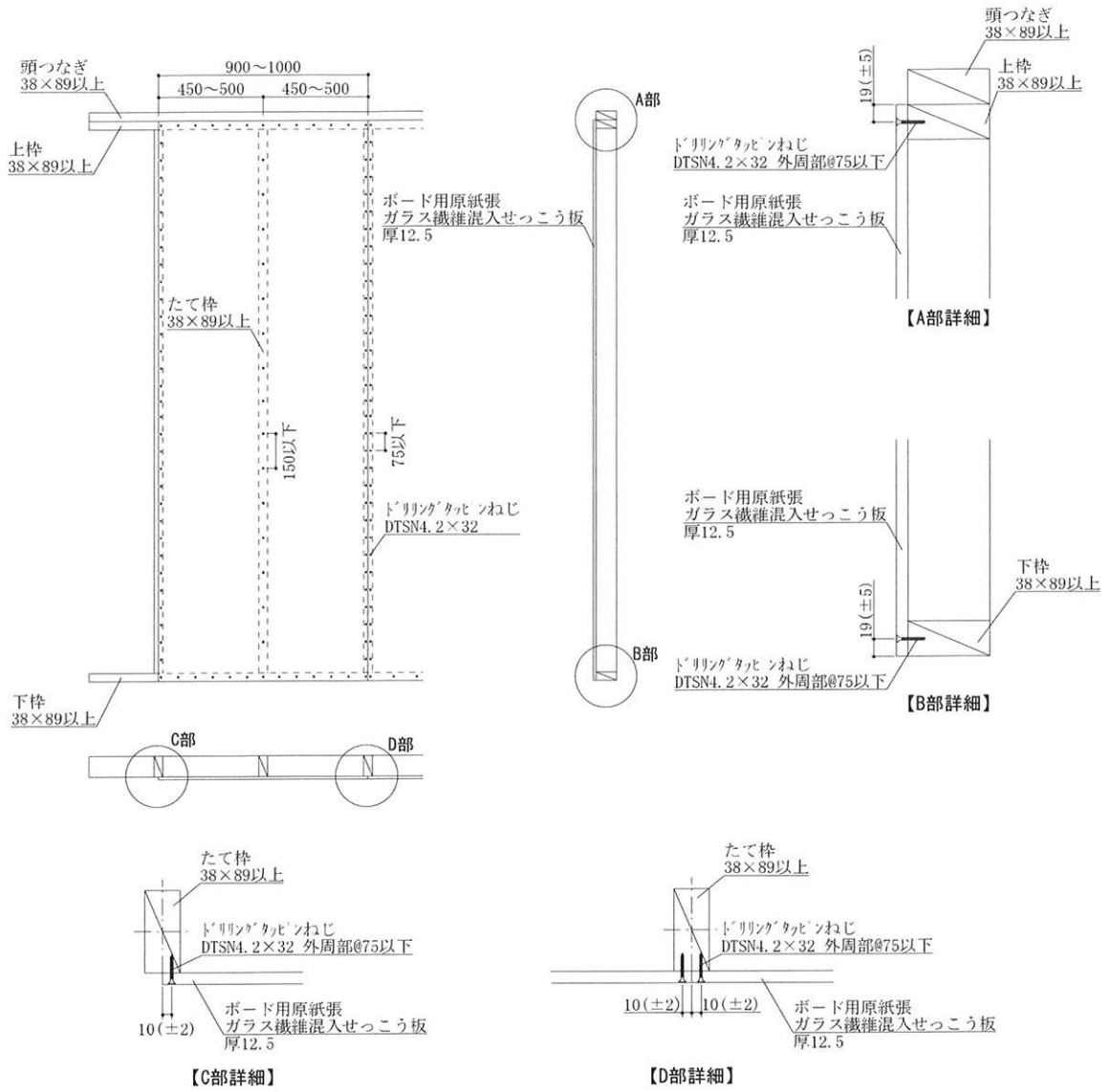


図7 施工図：1枚張りの場合（寸法単位：mm）